

企画展

MAKINO 植物の肖像



菅原一剛が写した
牧野富太郎の標本

PHOTOGRAPH BY ICHIGO SUGAWARA

Sendai-yoshino
Cerasus x yedoensis (Matsum.)
A.V.Vassil. 'Sakabai'
Oizumi, Nerima-ku, Tokyo Pref.
1939
Collection of The Kochi Prefectural
MAKINO Botanical Garden
Photograph by Ichigo Sugawara

2024 4.20 SAT ▶ 6.30 SUN

入場無料

企画展示：午前9時30分～午後4時30分

火曜休園

開園時間：午前9時～午後5時

協力：MAKINO Botanical Art Project、高知県立牧野植物園、東京都立大学牧野標本館

練馬区立 牧野記念庭園

牧野記念庭園は東京都指定文化財（名勝および史跡）です。



練馬区立牧野記念庭園
公式サイト

会場：記念館企画展示室

お問い合わせ先：TEL 03-6904-6403

E-mail：makinoteien@mist.ocn.ne.jp

URL：https://www.makinoteien.jp/



Biroudo-murasaki
Callicarpa kochiana Makino
Godaisan, Kochi City, Kochi Pref.
1934
Collection of The Kochi Prefectural MAKINO Botanical Garden
Photograph by Ichigo Sugawara

植物研究に生涯を捧げた牧野富太郎博士は、詳細で緻密な植物図を描いたことで知られ、また各地に出掛け採集した標本の多さとその美しさでも定評があります。本展では、博士の標本に感銘を受けた菅原一剛氏の写真作品を展示します。

子供の頃より図鑑に親しみその縁で牧野博士を知った菅原氏は、高知を訪れた際に高知県立牧野植物園で博士の蔵書と植物図に魅了されました。さらに標本庫に収蔵される博士自ら作製した標本を見て、まるで生きているかのような生命感に心動かされ、ぜひとも撮影を試みたいと希望しました。菅原氏の思いは、植物学の研究に不可欠な資料として保管される「牧野標本」の美しさを、肖像写真を撮影するかのような眼差しで蘇らせたいという一念でした。高度な写真技術を駆使してまっすぐな光を当てたことにより植物の微細な陰影までもが立体的に写し出された作品が誕生しました。その一つ「センダイヨシノ」(チラシ表)は、博士が練馬の自宅の庭で採取したサクラの標本を撮影し、それをピンクプラチナプリントという特別な技法で仕上げたものです。

あくまで科学的な資料である標本をアートの視点で紐解いた菅原氏の作品をぜひご覧ください。

関連イベント

アーティストトーク

講師：菅原一剛氏 (写真家)

聞き手：竹内一氏 (高知新聞記者・『MAKINO』の著者)

日時：4月20日(土) 午後2時30分から1時間程

内容：本展に展示される作品を撮影された菅原氏に、牧野富太郎博士への思いや博士の作られた標本の魅力などをお話いただきます。

定員：20名 (先着) 費用：無料

申込：4月1日(月) 9時30分より練馬区立牧野記念庭園公式サイト内イベント申込フォームにて受付、先着順。

場所：牧野記念庭園講習室・記念館企画展示室

(アーティストトーク中の入室は、事前申込者を優先します)

ワークショップ

ポートレート

「植物の肖像を撮ってみよう」

講師：菅原一剛氏 (写真家)

日時：5月19日(日) 午前9時半から午後2時 (途中90分の休憩を含みます)

※荒天の場合は中止となります

内容：実際の植物をポートレートとして撮影する方法をご紹介します。その後園内を自由散策しながら、お好きな植物を見つけて撮影いただけます。

定員：10名 (抽選)

費用：無料

持ち物：お持ちのデジタルカメラ

申込：4月21日(日)9時30分~4月30日(火)に練馬区立牧野記念庭園公式サイト内イベント申込フォームにて受付、抽選。

場所：牧野記念庭園講習室・庭園

※原則、練馬区在住、在勤、在学の方を対象としています。

※お申し込み後2日間が経過しても当館からの返信がない場合はお電話 (03-6904-6403) でご連絡ください。受信設定をしている場合は、あらかじめ設定を解除、あるいは下記ドメイン指定受信設定を行ってください。

[@makinoteien.jp]

【お知らせ】4月24日(水)に牧野博士の誕生日を記念したイベントを準備しています。詳細は決まり次第ホームページにてご案内します。

DR. TOMITARO MAKINO



まきの とみ た ろう

牧野富太郎 略歴 (1862-1957)

文久2年(1862年)4月24日に高知の佐川村に生まれる。生涯に発見・命名した植物は1,500種類以上、収集した標本は約40万点、研究のために収集した書籍は約4万5千冊にのぼる。大正15年(1926年)に渋谷から北豊島郡大泉村(現練馬区立牧野記念庭園の所在地)に移り住み、昭和32年(1957年)に満94歳で没するまでの約30年をこの地で過ごした。

ICHIGO SUGAWARA



すが わら いち ごう

菅原一剛 略歴 (1960-)

大阪芸術大学芸術学部写真学科卒。早崎治氏に師事後、フランスにて写真家として活動を開始。個展を多数開催するほか映画の撮影監督も手掛ける。2005年アニメ『蟲師』のオープニングディレクターを務めるなど活動は多岐に渡る。2023年青森県立美術館にて個展「発光」を開催。同年2月『MAKINO 植物の肖像』(北隆館)を刊行し、7月高知県立牧野植物園にて同名の「MAKINO 植物の肖像」展を開催。日本赤十字社永年カメラマン。大阪芸術大学客員教授。



牧野博士が
愛した街
練馬

交通案内

- 電車をご利用の方：西武池袋線 大泉学園駅(南口)徒歩5分
 - バスをご利用の方：主なバス経路
 - ・JR中央線 荻窪駅/西武新宿線 上井草駅から西武バス「長久保行」
 - ・JR中央線 西荻窪駅/西武新宿線 上石神井駅から西武バス・関東バス「大泉学園駅南口行」
 - ・JR中央線 吉祥寺駅/西武新宿線 武蔵関駅から西武バス「新座栄行」都民農園セコニック行」他
- いずれもバス停「学芸大附属前」下車、徒歩3分

